

# 第25回 手話通訳技能認定試験（手話通訳士試験）

## 「聞き取り通訳試験」問題

### 第1問「眼科の検査結果」

花田さんですね。先ほどの検査結果を見ると、緑内障の可能性ががあります。具体的に言いますと、眼圧が高くなって、視神経が傷つき、視野が狭くなったり、部分的に見えなくなったりする病気です。

緑内障の患者さんの割合は、40歳以上の20人に1人で、珍しい病気ではありません。10年から15年かけて徐々に進行していくので、患者さん自身が気づかないことが多いのです。一度傷ついてしまった視神経は、元に戻ることはありません。

耳が悪いのに、さらに目が悪くなるというのは、大変不安でしょうね。でも、早期に適切な治療を行うことで、今の見え方を保つことができます。

まずは、点眼治療からはじめましょう。効果がないときには、レーザーを使うことや手術を行うことも考えていきましょう。

点眼薬を出しておきますから、毎日の点眼を忘れないようにしてください。今日は、点眼薬は1種類です。効果が現れない場合は、薬を変えたり、種類を増やしたりしていきましょう。

### 第2問「国会議事堂見学」

はい、みなさん、集まってください。正面に見えるのが、皆さん、テレビでお馴染みの国会議事堂です。

我が国は日本国憲法で二院制をうたっており、向かって左側が衆議院、その反対が参議院となっています。この国会議事堂を作り始めたのは、大正9年、1920年の1月で、17年の歳月をかけ、昭和11年、1936年の11月に完成しました。

では、参議院の議場から見て行きましょう。議席は、演壇を中心にして半円形に配置されています。参議院議員の定数は、242人ですが、議席の数は貴族院の議場として使用していた名残で、460席あります。

「ギャベル」って、何のことかわかりますか。議長の本の右手に置いてある木槌のことです。本会議を始めるときなど、議長がトントンと叩いて静粛を求めるときに使います。

さあ、中央広間に向かいましょう。広間には、議会政治の基礎を築いた伊藤博文、大隈重信、板垣退助の銅像もあります。ゆっくりご覧ください。

## 第25回 手話通訳技能認定試験（手話通訳士試験） 「読取り通訳試験」問題（要約文）

### 第1問「ろうの教員から、保護者への説明」（要約文）

今日は突然お呼びたてして申し訳ございません。実は、今日の部活の時に、佐藤さん、あなたの息子さんが怪我をしました。

午後4時50分頃、バッティング練習で、佐藤君がピッチャーをやっていました。そのとき、森田君の打球が佐藤君の顔面、目のところにあたってしまいました。彼は「目が見えない」としばらくその場にしゃがみこみ、大騒ぎになりました。まぶたが腫れてしまい、目がふさがっているような状態でした。

そこで、すぐに保健室に運びました。氷で冷やしながら、私が「大丈夫だ」といっても、「見えない、見えない」と不安な様子でしたので、すぐに眼科に連れて行きました。

医師の診断では、腫れが引けば問題ないだろうとのことでした。そこでやっと本人は安心した様子でした。ただ、来週日曜日に試合がありますので、それまでに腫れが引くか、微妙なところですので、しばらくは安静にして様子をみたいと思います。

部活動の中で安全を意識させる指導が足りなかったと反省しています。今後は気をつけてまいりたいと思います。ご心配をおかけして申し訳ございませんでした。

### 第2問「映画の字幕」（要約文）

僕は映画が大好きです。よく観るのは、やはり洋画です。というのも、洋画には必ず字幕がついているからです。

でも、洋画ならばすべて字幕がついているかというと、そうでもありません。

洋画に日本人が出てくることが時々あるでしょう。その時に、日本人が日本語を話すシーンには字幕がないんです。確かに、聞こえる日本人は、その日本語がわかるから字幕は必要ないかもしれませんが、我々ろう者にとっては、日本語だろうと英語だろうと、字幕が必要なんです。

しかも、その日本人が英語を話しているのか日本語を話しているかという情報がないと、ストーリーが理解できなくなることもあるんです。

ろう者にわかりやすい字幕の付いた映画がもっと増えて、新しい映画も古い映画も、聞こえる人と同じように、いつでも観られるようになることを切に願います。